老人の主張大会で熱弁

12月9日、老人福祉センターで老人の主張大会が開かれました。これは、今回初めて行われたもので、老人クラブの9人の代表が「老人の余暇問題」、「老人クラブの現状」などについての意見を発表。会場を訪れた約80人の聴衆は、1人1人の熱弁に耳を傾けていました。

優秀、優良運転者の表彰申請を受け付けます

新津地区交通安全協会では、次のように表彰申請の受付を行います。

□受付期間…一月五日～二十日

□資格、条件

・新津地区交通安全協会員であること

・優良運転者表彰…「五年」、「十年」以上の間、交通事故や違反を犯したことがなく、免許の停止処分（行政処分）を受けたことがない人

・優秀運転者表彰…「十五年」、「二十年」、「二十五年」、「三十年」、「四十年」以上の間、交通事故や違反を犯したことがなく、免許の停止処分（行政処分）を受けたことがない人

□申請方法…申請は、各支部長を通じて行うことになります。申請書は、交通安全センター、各支部長のところに用意してあります。必要事項を記入して、受付期間内に提出してください

なお、くわしいことは、新津地区交通安全センター（☎24―7666）または各支部長へお問い合わせください。

新津保健所テレホンサービスのご利用を

■サービスの時間

・平日…午後五時十五分～翌日の午前八時三十分

・土曜日、日曜日…土曜日の午後零時三十分～月曜日の午前八時三十分

■電話番号…22―5175

■内容（一月～三月）

・月曜日…赤ちゃんのけが、大丈夫ですか!!

・火曜日…抱っこと添い寝――心の栄養をたっぷりと

・水曜日…おっぱい――やめる時期は赤ちゃんに決めさせて!!

・木曜日…お母さん！もっと話しかけて!!

・金曜日…大事にしすぎていませんか？冬こそたくましく!!

・土曜日、日曜日…夜泣きのわけ、考えてみませんか？

随想リレー（176）

秋葉湖漫歩

秋葉一　山本はる

秋葉山は、新津市民にとって、心のふるさとなのではなかろうか。

私は、秋葉山山麓在住の特権で、月に何度かは山を漫然と歩く。先日も冬枯れの秋葉湖へ足を伸ばした。沼は、水を抜かれて空っぽで、秋口まで住んでいた鴨一家も、一羽の鴨もいない。子どもを従えて泳いだり、潜ったりする鴨の家族は、秋葉湖の風物詩の一つである。

浮巣を見ようと、足繁く通うのだが、一向に見つからないところを見ると、どこかで孵ってこの沼へ遠出して来るのかもしれない。運の良いときは鴛鴦が、また今年は、三羽の鴨も来ていた。どこかへ渡る途中の水鳥が、木立のすき間から小さな沼を見つけ、「良さそうな沼だから、ちょっと休んでいくか」と降りてくれるのだとしたら、うれしいことである。静かに水を湛える沼のうわさが鳥たちに伝わって、もっとゆっくり滞在していくようになったら、なおうれしいことである。

早春には、水面へ傾いで榛の花が咲く。そのころから秋葉湖周辺は、にぎやかになる。おたまじゃくし、あめんぼう、いかり草、一輪草がかわいい。先日も枯れ切った草むらの中につるりんどうが真っ赤な小さい実をゆらしていた。

この夏の葛の茂り様は、すごかった。独特の臭気と彩を持つ臭木の花も、山藤も、葛のつるにからまれ、文目もわからぬ程であった。真夏でもじめじめした窪地がかっこうの繁茂をもたらしたのだろう。その湿地に水芭蕉が白い花を開くのは、初夏であるが、今は枯芦がはびこって来春の芽立が心配である。葛の繁茂と並んで毛虫もひどい。その時期は、さすがの私もなるべく近寄らないようにしている。

今、秋葉湖は、涸れ切っていても、来春になれば、戻ってくる水とともに鴨や草木が彩どりを添えてくれるだろう。近くには、野外ステージが建設中であるのも、来春に期待する楽しみの一つである。

＊　＊　＊

このバトンを美幸町一の神田邦さんにリレーします。

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

本年もよろしくお願いいたします

本町4　チューリップチェーン結成10周年特別企画

鬼怒川温泉探訪　大名旅行

参加者募集中！　出発62年9月6日～7日

賀正